サボの決
社側は急
し出し
[illegible]士には
と争議団
たり
議等
[illegible]シ
ボン[illegible]
キコウ弾
にして検、
名は元気
た。
所に宛て
したと云
たり国民
同じよう
ひて争
モミ
奔した。

争議団では彼等のデマに俺達はあくまで斗ふのポスターを貼りめぐらすと共に全労働者及び各労働団体に其の決意を声明した。

夜全員は吉橋宅附近に押しかけデモる。汽船を占領して三角で会社事務所前近にやはりデモ、革命歌を高唱して浦安警察本部に引き上げる途中また〳〵逆行しに天張り、[illegible]橋の一味が[illegible]近でデモった。[illegible]アワを喰ってかけつけた舟橋署の犬共を争議団万才で追っ払った。

十日

江東地方及び都下各争議団の間に争議の相互支持應援の気運がモリ〳〵と起って来た。四十余日にわたって苦斗してゐる大島製鋼の兄弟約百余名は十日浦安にピクニックをやるので我が争議団では汽船を提供した

争議團の共同斗争万才！

（別記三）

ストライキ決行について

住民諸君に訴ふ！

俺達は今日からイヨイヨストライキ（停船）をやらねばならなくなった。それは昨日、会社側重役との会見に於て会社側が全然争議解決についてはツメのアカほどの誠意もなく新社長木村は何と言ふたか『東京通船は十余万円の借金があるからそれが返せる迄給料を減給する』『十何名はどうしても首切る』『会社規定の解雇退職手当をホゴにする』とトウ〳〵本音をハイタのだ、そして云ふことを聞かねば汽船を取り上げると又カしたのだ。まだ前社長の吉橋等はその行方をクラマして逃げ廻り、俺達に対して何等の責任さへ持たうとしないのだ、俺達はもうがまんが出来ない。俺達百八十人の家族は今まさに[illegible]くことをさへしようとしてゐるのだ、俺達は止むなく、ストライキで戦ふより仕方がなくなったのだ

賢明なる住民諸君！！

そのため、諸君に多大な不便をかける様なことゝなったが俺達の苦しい、生きる為の戦ひしばらくの不便をしのんでくれ！　そして俺達の勝利のため絶大なる應援を切望して止まない次第である

昭和五年九月十三日

葛飾汽船争議團
自由聯合団体全国会議
関東一般労働者組合

（別記五）